

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束者はいないが、言葉使いや、言葉による抑制についての知識が薄い。	高齢者虐待防止、身体拘束廃止に向けて講習会に参加、また、勉強会を開催し身体拘束に向けた取り組みを行い、職員の意識向上に繋げる。	毎月のカンファレンスにて身体拘束にあたると思われる行為(スピーチロック)がなかったか意見を出し合い、反省と改善をおこなう	12ヶ月
2	19	病状や新たな内服薬についての知識や観察力が職員間で統一されておらず、御家族や主治医への対応がスムーズに対応出来ない時がある	病気や薬についての知識の習得のため勉強会への参加等行い変化に気づき主治医や御家族への報告が速やかに繋げられるようにする	毎月のカンファレンスにて入所者様の状態について職員全員が理解し御家族、主治医に報告出来る体勢を整える	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。